

# 保護司会広報誌「ていね」

保護司会広報誌

令和6年度第2号（通算44号）

発行責任者 札幌市手稲区保護司会

会長 板垣 裕子

編集 広報部

※本誌面の無断転載を禁じます

AIにより作成した記事を含みます

7月1日は更生保護の日・7月は社会を明るくする運動月間です

## 公開ケース研究会開催

講演者 渡辺 一史氏  
(ノンフィクションライター)

演題「なぜ人と人は支えあうのか  
心のバリアフリーについて考える」

10月8日手稲区民センターにおいて「なぜ人と人は支えあうのか、心のバリアフリーについて考える」と題して、作家の渡辺一史さんを講師に迎え公開ケース研究会を開催しました。当日は200名ほどの参加者が集まり熱心に講演に聞き入っていました。渡辺さんは、2018年に公開された大泉洋さん主演の映画「こんな夜更けにバナナかよ」の原作者で、この映画のモデルになった鹿野靖明さんとは20



代の頃からの友人でした。筋ジストロフィーを患いながらも、病院を飛び出しボランティアや多くの人に支えられながら生きた鹿野さんの生き様を描いた「こんな夜更けにバナナかよ」は、ベストセラーとなり映画化もされました。講演では、相模原市のかがやき園で起きた事件を題材に、精神の発達や価値観、社会の断絶や孤立などの問題に深く切り込みました。渡辺さんは、事件の背景にあった差別や偏見、そして人間の尊厳について深く考察し、参加者に問いかけました。「なぜ人と人は支えあうのか」というテーマについて、渡辺さんは、人はそれぞれ異なる価値観や背景を持ちながらも、互いに支え合うことで生きていけるのだと語りました。また、心のバリアフリーの重要性についても触れ、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、私たち一人ひとりができることを考えなければならないと訴えました。

講演の中では、「こんな夜更けにバナナかよ」が映画化された際の裏話エピソードも紹介されました。映画化にあたって、渡辺さんは鹿野さんの生き様を忠実に再現することにこだわったといいます。また、大泉洋さんをはじめとするキャストやスタッフとの交流についても語り、会場を沸かせました。講演後には、参加者からの質問に渡辺さんが答える質疑応答の時間が設けられました。参加者からは「渡辺さんの話を聞いて、人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。私も、誰かの支えになれるよう、できることをしていきたいと思いました。」「心のバリアフリーという言葉は知っていましたが、具体的にどうすればいいのか分かりませんでした。今回の講演会に参加して、心のバリアフリーについて深く考えることができました。」「映画『こんな夜更けにバナナかよ』を見て、鹿野さんの生き方に感銘を受けました。今回の講演会で、渡辺さんから映画化の裏話を聞くことができ、とても興味深かったです。』

手稲区保護司会では、今後も地域社会の安全・安心に貢献できるよう、様々な活動を行ってまいります。今回の公開ケース研究会も、その一環として開催されました。私たちは、罪を犯した人たちの更生を支援するボランティア団体です。地域社会の安全・安心に貢献するため、様々な活動を行っています。手稲区保護司会の活動にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

## 北海道科学大学稲峰祭「街頭啓発活動」実施

令和6年9月21日「社会を明るくする運動」の一環として街頭啓発活動が実施されました。大学のご協力により同キャンパス内で行われた大学祭（稲峰祭）会場で多くの来場者にリーフレットやティッシュ等を配付し子ども向けには風船やほごちゃんキャップを用意、犯罪や非行防止、薬物乱用防止、更に立ち直り支援について呼びかけることができました。地域に開かれた祭り会場で、皆さんとともにこやかで、啓発活動の呼びかけにも気持ちよく応えてくれて私たちも楽しく活動を行うことができたと思っております。このような会場で多くの学生さんや地域の人たちに犯罪のない安全で安心な明るい地域社会について啓発できたことはとても良い機会だったと思います。ご理解ご協力いただいた北海道科学大学の皆様に感謝申し上げます。



稲峰祭当日の様子

## 前田北中学校薬物乱用防止パネル展開催

令和6年9月26日学校祭当日にあわせて開催されました。前日から準備し、当日は生徒さんや訪れた保護者等多くの皆さんが足をと止めて展示されたパネルを興味深くご覧になったり、質問してくれるなど、更に用意されたリーフレットなどもすべて配付でき充実した活動ができました。



## 作文コンテスト

地域の未来を担う子どもたちの声 - 「第74回社会を明るくする運動」作文コンテスト入賞作品決定！

【中学生】（参加校 84 校から 3,143 作品）

札幌地方推進委員会優秀賞

・犯罪ゼロ社会をつくる 新陵中 3年 佐野 羽

【小学生】（参加校 90 校から 1,950 作品）

札幌地方推進委員会優秀賞

・犯罪や非行を減らすには 前田北小 6年 高濱 慈衣

手稲区区長賞

・人のことを考えて発言しよう 新発寒小 6年 川村 俊斗

手稲区保護司会会長賞

・私にできる事 稲穂小 5年 山口 あまね

・「寄り添う」 稲積小 6年 境 謙心



写真左：板垣会長 写真中央：佐野羽さん 写真右：八木田晃暢校長

次代を担う小中学生を対象に「社会を明るくする運動」作文コンテストが開催され多数の応募の中から厳正な審査を経て、入賞作品が決定いたしました。子どもたちは、日常生活の中で感じたことや、社会への願いを自由な発想で表現しました。どの作品も、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けた力強いメッセージを届けてくれました。子どもたちの豊かな感性と、社会への真摯な想いが込められた作品の数々に心を打たれます。札幌地方推進委員会優秀賞を受賞した新陵中学校3年の佐野羽さんの表彰式は、同中学校校長室にて行われ、手稲区保護司会会長より表彰状が手渡されました。

## 函館への視察研修旅行を実施



函館少年刑務所前にて

去る10月29日から2日間の日程で、手稲区保護司会18名がチャーターバスを利用し「函館視察研修旅行」を行いました。初日は、手稲区民センター前を早朝に出発。途中、道の駅で昼食を摂りながら函館入り、函館少年刑務所や幻想的なトラビスチヌ修道院など、普段なかなか入ることのできない施設を見学しました。その中でも、函館少年刑務所では、日本で唯一の漁船「少年北海丸」を所有し船員としての乗船実習を行っていること、また訓練棟施設では、専門的な技術訓練が行われており、受刑者の真剣な眼差しや丁寧な作業から、自分自身の未来への希望と社会復

帰への強い意志を感じ取ることができ、貴重な研修の機会となりました。宿泊は、湯の川温泉「啄木亭」での癒しと、美味しい料理を頂き会員相互の親睦を深めました。2日目は函館アリーナで開催された「更生保護施行75周年記念北海道更生保護研究大会」に参加、大泉函館市長の記念講演の聴講と函館大学付属有斗高等学校「マーチングバンド部」の華麗なマーチング演奏に感動、その後、幕末の激戦地となった城郭「五稜郭公園」に立ち寄り無事帰路に着きました。片道4時間という長距離の行程でありましたが、秋晴れの下、充実した2日間でした。

函館の視察研修を企画した研修部の皆さんに感謝申し上げます。

## 第2回自主研修会

11月8日藤原保護司を講師に行われた研修では、実際に行ってきた出前講座を再現し、各グループ内での話し合いを通して代表者が発表を行った。中学校等で実際に行われている内容を共有した。保護司会参加者は17名。

## 第2期地域別定例研修

12月18日に行われた研修では「遵守事項と生活行動指針」をテーマに保護観察対象者の基本的な事件区分1号から4号を分かり易く説明、新任保護司は勿論経験豊かな保護司も改めて認識したと思います。令和6年12月現在手稲区保護観察対象者は22件で今のところ「遵守事項」で問題とされる事案は無いようです。「一般遵守事項」「特別遵守事項」で遵守事項を守らない対象者に対する対処方法や各保護司独自の方法などグループワークによるディスカッションから、知識と研鑽に大いに役立ったと感じました。

## 「新任保護司研修会」に参加して

令和6年12月1日 委嘱  
中央分区 清水敬弘 金子美雪

わたくしは、新任保護司として委嘱を受けました清水 敬弘と申します。昨年12月18日に、「新任保護司研修会」に参加させていただきました。これまで、保護司に対する不安なイメージがありましたがご紹介頂いた中央分区長をはじめ、板垣会長や廣林副会長のお人柄に触れると不安な思いが払しょくされました。また、同研修会でも丁寧なご説明や質問にご対応頂きましたので、大変に微力ながら地域の皆さま方としっかり連携して手稲区の犯罪や非行を防止し、更生保護活動に貢献できればと考えております。皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 退任保護司紹介

令和6年  
11月30日退任

鉄北分区 山本 達男さん  
前田分区 大寺 悟子さん  
永きにわたり社会のためにご尽力  
いただき、ありがとうございました。

## 第3期地域別定例研修

3月4日手稲区民センター視聴覚室にて保井統括保護観察官による「面接」の目的や在り方について研修が行なわれました。何度も接触し地道な面接を行い、対象者の心の声を聴き、共感・寄り添うことで保護司との信頼関係が構築されます。対象者の社会復帰を目指す後押しに、重要な役割があると感じました。



## 令和6年度更生保護功績者表彰



吉原克紀札幌保護観察所長と板垣裕子保護司

叙勲 瑞宝双光章

板垣 裕子 (鉄北分区)

法務大臣表彰

栗飯原 真理子 (西分区)

武市 恵美子 (中央分区)

全国保護司連盟理事長表彰

沼田 ゆみ (鉄北分区)

北海道地方更生保護委員会委員長表彰

高木 精 (前田分区)

北海道地方保護司連盟会長表彰

稲垣 和彦 (前田分区)

札幌保護観察所長表彰

粟崎 寿也 (西分区)

杉江 小百合 (前田分区)

高階 康之 (西分区)

札幌保護司会連合会会長表彰

安部 伸一 (中央分区)

上村 英生 (鉄北分区)

札幌市長表彰

齋藤 悦子 (前田分区)

## 見直し検討委員会提言を受けて

令和6年度上半期に手稲区保護司会の持続可能な保護司会活動について、見直し検討を行う委員会が行われました。この委員会の提言を踏まえて、手稲区保護司会理事会において下半期に協議を行ってまいりました。行事の質や効果の検証についての議論、担当者の負担の過多や関係機関への働きかけの方法など、改めるべきポイントが見つかっています。令和7年度から改善して取り組めるものとして、パネル展とメッセージ伝達式、決起集会の同時開催、公開ケース研究会の名称を「公開研究会」と改めるなどが決議されました。また、これら以外にも次年度以降も検討される項目として、保護司会会費の減額や無料化、役職数の削減、組織のスリム化、これらに伴う規約の改正などがあります。今後も持続可能な保護司会を目指して取り組んでまいります。

## 二十歳の集いお手伝い

1月12日手稲区体育館にて開催された「令和6年度手稲区二十歳の集い」に安全支援班として参加しました。およそ850人の二十歳を迎えた若人の晴れやかな姿と立派な立ち居振る舞いに、輝かしい未来を感じました。

## 令和7年度おもな行事予定

<p>4月22日火曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手稲区保護司会総会</li> <li>・第一期地域別定例研修</li> </ul> <p>テーマ「地域援助」</p> <p>会場 鉄北コミュニティープラザ 手稲区曙7条3丁目6-22</p>	<p>7月9日水曜日</p> <p>社会を明るくする運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣総理大臣メッセージ伝達式</li> <li>・決起集会・社明パネル展</li> </ul> <p>会場 手稲駅自由通路「あいくる」 手稲区手稲本町1条4丁目3-7</p>
---	--

## 協力雇用主会

協力雇用主会会員企業数が増加し15社となりました。皆様のご理解ご協力で感謝申し上げます。ありがとうございます。

会員企業名	SK工業株式会社	株式会社 North clover	株式会社道和テック工業
有限会社三晃商事	有限会社チョイス	株式会社日進製作所	一般社団法人賢祥会
東光自動車工業株式会社	株式会社新明和製作所	株式会社寿造園	光建工業株式会社
株式会社クロタキ産業	株式会社リ・フィールド	株式会社スペース・デザイン	株式会社大東

手稲区更生保護サポートセンター情報(平日のみ開設)

開設時間 9時30分～16時(12時～13時不在)

電話・FAX 011-694-8616

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目1-10 手稲区役所2階

E-mail teine.hogoshikai@gmail.com

手稲区保護司会ホームページ

<https://teineho54.org/>

スマートフォンのカメラで

右のQRコードを読み取る

ことでも閲覧可能です!

